

# 名勝公園マネジメント計画について

## 1. 名勝公園マネジメント計画策定の目的・位置づけ

■名勝公園マネジメント計画とは (保存活用計画本編 p.58)  
 「名勝公園マネジメント計画」は、「名勝洗足池公園保存活用計画」を具体的に実行、実現するための計画であり、その目的は「将来像」の実現。

### 名勝洗足池公園保存活用計画

#### 【将来像】

都市部に残された貴重な風致景観として、区民をはじめとした多くの人々が積極的に参加しながら将来にわたって引き継がれ、自然と歴史を伝える原風景となっている。  
 人やまちが成長していく中で、地域の歴史や文化がさらに可視化され、名勝洗足池公園が地域の貴重な文化財として生かされている。

#### 【4つの基本方針】

保存

活用

整備

運営・体制

### 名勝公園マネジメント計画

一般的な都市公園ではなく、名勝であり、公園である洗足池公園の運営管理方針や具体的取組みを示す。

#### 名勝洗足池公園保存活用連絡協議会

洗足風致協会、学識経験者、地域団体、地権者、大田区 など

＋α (都市公園法に基づく協議会など)

樹木・水・文化財などに関する個別計画

### 目標・将来像の実現

保存(残す)

両立

活用(使う)

どちらか一方のみでは達成されない

## 2. マネジメント計画の流れ

保存活用計画の将来像・基本方針整理

#### 現状の確認・整理

・今まで保存されてきたもの  
 ・今までの活用・活動

#### ゾーン分け

全体が保存されることを前提として、活用の視点も含めたゾーン分け

#### ゾーン別目標像

ゾーンごとのあるべき姿を整理

#### ゾーン別取り組み

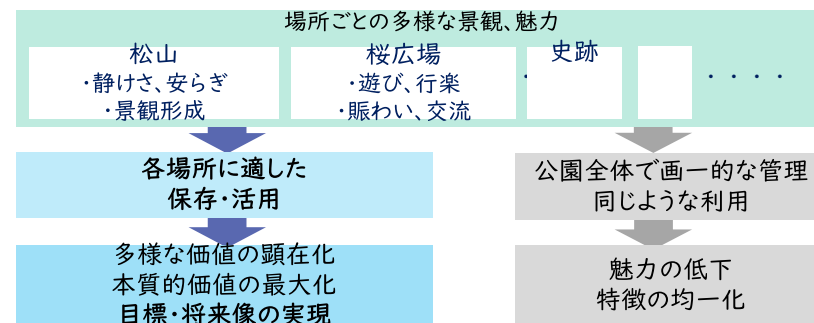
ゾーンごとに取り組む具体的事項のまとめ

ゾーン分けするにあたって、今までに保存されてきた洗足池公園の風致景観や公園活用の状況、過去の取組等を再確認。名勝を構成する多様な要素・場所ごとの特徴を整理する。

## 3. ゾーン分けの考え方

### 3-1 ゾーン分けの必要性

公園内の景観、特性、魅力は一律ではなく、多種多様である。場所ごとの特性に合わせた保存・活用を図ることで、多様な価値の顕在化、本質的価値の最大化を図り、目標・将来像を実現していく。



### 3-2 ゾーン分けの考え方

場所ごとの景観特性と利用特性に着目し、ゾーン分けを行う。

#### 景観特性(保存)

スカイライン、水面、歴史・文化、樹林等

#### 利用特性(活用)

行事、散策、休憩、遊び、学習、交流等

例) 樹木を大きく育てるゾーン

例) 積極的に学習の場として利用していくゾーン

例) 子供が安心してのびのび遊べるゾーン

